



2004 年度第 6 号

# やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校  
理事会通信

2004 年 10 月 2 日

## 学校定款改訂審議の経過報告 (法規委員会)

やまなみ第 3 号 (6 月 5 日発行) でも報告しましたが、今年度の理事会法規委員会では、補習校の Bylaws (定款) の改訂に取り組んでいます。改訂のポイントは大きく分けて 2 点あります。(1) 理事選挙実施規定の整備、(2) 理事会、評議会を含む学校運営に関する規定の整備・改訂、です。

### (1) 理事選出方法に関する規定の整備

本年 2 月に理事選挙が初めて実施されましたが、実施要綱が十分整備されていたとは言えませんでした。例えば、選挙運営のプロセスが見えにくい、立候補者プロフィール等情報が少なく選べない、投票日までの締切が短い、などの問題点が指摘されました。こうした総会でのご質問や保護者会からのご意見も踏まえ、おおよそ次のような内容で選挙運営細則を改定し、次回選挙から実施する方向で検討中です。

- ・保護者会からの理事や領事館理事といった選挙を受けない中立な立場にある理事からなる「選挙委員会」を設置し、選挙の管理・運営を行う。
- ・選挙委員会は、選挙告示、開票管理、当選者の発表など、選挙全般を十分なスケジュールの余裕を持って運営する。
- ・立候補者のプロフィール・抱負などを掲載する選挙公報を充実させ、投票の際の情報を拡充する。
- ・その他、規定を明確化する。

### (2) 学校運営に関する規定の整備

現在、Bylaws (定款) の他に、学校便覧で様々な事項(例えば三役会の設置など)が規定されていますが、こうした学校便覧だけに記載されている規定が、いつ・どのようになら改訂できるのか一などが、必ずしも明らかではありませんでした。

一方で、安全管理や高等部の運営方法など、喫緊の課題も山積しており、理事会を含む学校運営の効率化も大きな課題となっています。

Bylaws の条文にも、不明確なものや実態に即さない部分が見られますので、これを改訂するとともに、別途「補習校運営細則(仮称)」を新たに規定し、運営の透明性を高めつつ、より効率的な運営を目指すこととしています。具体的には、次のような改訂・整備を行います。

- ・常設委員会(総務・学務・財務・法規)の役割分担を見直す。一具体的には、従来不明確だった安全管理を総務委員会の所管として明確化する、など。

・「三役会」を「役員会(Officers' Meeting)」に改組し、権限と責任の明確化、より効率的な運営を目指す。一具体的には、財務および法規委員長だけが三役となっていたことを廃し、Bylaws 上の役員(理事長、副理事長、財務役、監査役、事務局長)で構成する役員会に改組し、日常的な運営を実施する。

- ・理事会の専決事項を明確化し、委員会、役員会の監視・チェック機能を強化する。一具体的には、授業料の改定や理事選挙などは、理事会で討議し決定しなければならぬ、など。
- ・評議会については、理事会の諮問機関としての位置付けを明確化し、法人会員の代表として、必要に応じて各種諮問を行う。一後述する「法人会員の社員の子女の優先入学権」の規定廃止について、評議会に諮問中です。第 5 回理事会までに評議会から回答される予定です。
- ・実態に即さない規定を改訂する。一上述のとおり、現在の Bylaws では、法人会員には、その社員の子女の優先入学権が認められています(Bylaws 第 11 条)が、実態としては、このような取り扱いは行っておらず、また、差別排除の入会原則(Bylaws 第 17 条)にも抵触するおそれもあるため、これを廃止します。
- ・その他、表記や内容を明確にする。

Bylaws の改訂案の詳細や、これらの新設規定につきましては、次回(第 5 回)理事会までに審議を尽くし、専門家のチェックも受けた上で、早期に実施する予定で作業を進めています。

## 事務局業務へのコンピュータ・システム導入の取り組み (総務委員会)

今年度の取り組みとして、事務局での業務の効率化及び会員へのサービスの向上を目的とし、コンピュータ化を進めています。本格的な開発は 10 月の理事会で承認を受けてから行いますが、現在の目標をもってシステム設計を始めたいです。

- ・会員(保護者)及び児童・生徒情報のデータベース化、
- ・授業料の自動口座引き落とし、
- ・オンライン(Web 上)でのクラス単位の児童・生徒情報の閲覧、
- ・連絡先など個人情報が変わった場合本人によるオンライン更新、
- ・クラス単位又は、学年単位でのメールの同報送信。

これを行うメリットとしては、①毎月の授業料引き落としの作業が楽になり、誤入力の恐れが減る、②転出・編入

の情報を学校、保護者会、クラス委員、図書委員などにスムーズに伝達できる、③緊急連絡先などの個人情報を常に最新のものにできる、④事務局での入力作業の手間が省ける、⑤必要に応じて連絡事項を同報メールで配布できる、と言う点が考えられます。

オンラインで個人情報を編集する機能や同報送信の機能に関しては、各家庭でのインターネット接続の有無、環境によって有効性が変わりますが、殆どの会員が家庭または職場において Web へのアクセスができ、電子メールのアカウントを所有していると理解しています。

(同報送信システムの開発は来年度の課題ですが、その他の機能は今年度末の完成に向けて作業を進めています。)

インターネットへのアクセスが無い会員の為に「住所/電話番号変更届」などの届出は従来どおり受け付ける予定です。しかし、事務局での作業軽減・経費節減のためにも是非会員各位の協力をいただけることを望んでいます。

当開発に於いて理事会が一番懸念する事は個人情報の管理です。漏洩による悪用や事故によるデータの紛失が起らない様、開発会社と一緒に必要必要な対策を講じながら設計を行う方針です。また、アクセス権限は各家庭にパスワードを発行して制限・管理します。

小学部 SJ 校では現在コンピュータによる図書管理を行っています。残念ながら図書コーナーではオンラインに接続する環境がなく、今回開発を行うデータベースとは直接繋がりませんが、事務局のデータベースとの上手な情報の受け渡しを行い効率を上げて行くことができると考えています。またそのほか各校の図書コーナーに於けるコンピュータ管理の検討を今年度中に始めたいと考えています。

理事会と保護者会ではシステム化を進めるにあたりボランティアとしてお手伝い頂ける方を募集します。お手伝い頂きたい内容は次の何れかです。

- ・出来上がったシステムに対して操作上のテストを行う
- ・操作マニュアルを書く
- ・図書システムのパソコンを操作する
- ・システム設計をする

その他多少でもパソコンの知識がある方も歓迎します。また不要になったノートパソコン及びバーコードリーダーの寄付も受け付けていますので宜しくお願ひします。お手伝いできる方又は寄付していただける方は保護者会又は長岡理事(yasunagaoka@comcast.net)までご連絡ください。

## 「やまなみ」を本校 HP に掲載

「やまなみ」、校長通信「カリフォルニアの風」、その他全校保護者向け配布物を本校ホームページに掲載しています。下記にアクセスしてください。  
<http://sfjlc.com/menu/menu-2004.htm>

## 高等部説明会参加への御礼

9月18日中高部 SJ 校、25日中高部 SF 校において、理事会・保護者会共催で高等部に関する説明会を開催しました。合計で約40名の出席がありました。また、9月11日にはSF、SJ各校で教員への説明会を開催しました。

いずれも貴重なご意見をいただきました。今後の理事会での検討の際の参考とさせていただきます。ありがとうございます。

## 理事の学校訪問

秋の学校訪問(小学部)が行われました。午後2:30-3:15の6校時の授業参観に続いて、午後3:25-3:45の下校の様子・施設視察では、保護者が教室前で児童を引き取るというルールが励行されていることを再確認しました。その後、午後4:00より45分程度、教職員との懇談会がもたれました。そのときの様子を以下に要約します。

### 【小学部サンノゼ校】

日時：9月18日(土) 午後2:20-4:40  
 参加理事：佐藤、長岡、長谷川  
 ○病欠以外は休暇が取得できないが、慶弔、家族病気の事由も考慮してほしい。  
 ○休暇をとる場合、現在は内部調整で代行授業を実施しているが調整が難しい。代行制度(退職した本校教員などの代行教員登録など)を検討してほしい。  
 ○退職した教員の再雇用制度(常勤、非常勤)を検討してほしい。  
 ○運動会準備、新規採用教員への事前指導(学年主任を中心に個人的な指導を実施)など、授業日以外にも対応が必要なケースがある。運動会の運営についても検討してほしい。  
 ○小1・2年生の4校時授業について理事より質問があり、2年生は体力的にも問題なく保護者の方々にも全般的に好評であること、教員の負担については、数ヶ月でペースができて教育に余裕ができてきていること、ただ、各担任はお弁当指導などもあり、昼休みに休憩は取れず放課後に昼食を取るケースが多い、との回答があった。

### 【小学部サンフランシスコ校】

日時：9月25日(土) 午後2:20-4:40  
 参加理事：安、金井田、田附、中村、早川  
 ○夏季集中学習の日程について、期間中の休日が日曜日1日だと、添削時間確保や疲労蓄積の点で厳しい、休日は2日間確保して貰いたい旨の要望があった。  
 ○現地中学校を借用している為、机や椅子のサイズが1、2年生の体格に合わず、授業への集中度に影響している。また、低学年児童用の遊具が無い点も問題で

あり、将来的に現地小学校借用を検討して貰いたい旨の要望があった。  
 ○遠方から通勤する教員に対し、配慮をお願いしたい旨の要望があった。  
 ○理事より、今年度の授業日数1日減の影響について質問があった。教員より、指導計画見直しにより十分対応可能との回答があった。

### 【参加した理事の感想(両校)】

○週1日という限られた日程の中で、授業内容や指導にご尽力を戴いている教員の皆さんに対し、敬意を表す。  
 ○実際に授業を見、また懇親会で様々な意見を頂戴できたことは有意義である。  
 ○環境改善について、理事会として出来ることは実行していきたい。

## 児童・生徒の登下校について

6月に開催された第2回理事会において、中高部保護者から出されていた生徒送迎時の保護者の付き添いに関する要望について審議が行われました。

学校が行った登下校の実態調査により、一部で中高部生徒だけの登下校が行われていたことが確認されました。これに対し、理事会において次のような意見の交換がありました。

- 同じ学校に平日通っているときは一人で通学できるのに土曜日は保護者同伴ということに違和感を感じる。高等部生徒に保護者付き添いの送迎が必要か。
- 米国では子供が学校を出たところから学校は責任を負わない。高等部生徒の年齢では一人で行動することが法律的にも認められている。また、SF市内では公共交通機関も便利である。
- 安全確保のため必要である。本校の方針として小中高一貫した対応が必要。例外的対応をすると他学年に波及することが心配される。従来から保護者送迎が規則であり、10年以上この規則でやってきている。
- いざ何かが起きたときの対応・責任を念頭に置かねばならない。その生徒本人の安全だけでなく、もし不測の事態が起きた場合その対応のために教職員が忙殺され他の児童・生徒の迷惑になり、安全にも影響する。

これらの審議を踏まえて、理事会の方針として「現行規則のままとし保護者に規則の遵守を求める」、「規則を見直し生徒のみの登下校の場合によって認めることの検討を始める」の両案につき採決が行われ、前者8票、後者4票となりました。その結果、現行どおりの規則を維持することが確認されました。

保護者各位のご理解と規則遵守を改めてお願い申し上げます。

## 人事異動

|    |       |      |          |
|----|-------|------|----------|
| 採用 | 小 SJ  | 船谷孝子 | (9/18 付) |
| 退職 | 中高 SF | 千田柳子 | (9/30 付) |
| 採用 | 事務局員  | 岩田誠司 | (10/1 付) |
| 採用 | 中高 SF | 稲葉京子 | (10/2 付) |
| 退職 | 小 SF  | 伊藤美子 | (10/2 付) |
| 退職 | 小 SJ  | 鶴下康子 | (10/2 付) |

## 高等部管理職応募期限の延長

高等部管理職を学校内外より公募中ですが、10月20日まで応募書類を受け付けます。応募要領に関しては「やまなみ」9月号および9月18日教員宛配布の募集要項をご覧ください。

## 事務局よりお知らせ

### 10月、11月の主な行事予定

| 月  | 日  | 行事予定           |
|----|----|----------------|
| 10 | 2  | 前期終業           |
| 10 | 9  | 後期始業           |
| 10 | 23 | 授業参観・個別懇談(中高部) |
| 11 | 6  | 授業参観・個別懇談(小学部) |
| 11 | 20 | 後期中間テスト(中高部)   |
| 11 | 27 | サンクスギビング休暇     |

### イヤーブック写真撮影予定日(10月)

| 日   | 対象  |
|-----|---|
| 2日  | 午前<br>小学部 SJ 校 (5、6年生個人写真、教職員集合写真、校長、教頭、各クラス担任、専科、看護、事務、用務個人写真) |
|     | 午後<br>中高部 SJ 校 (全員)   |
| 9日  | 小学部 SF 校 (1~3年、4年1組、4年3組個人写真、教頭、各クラス担任、専科、看護、事務、用務個人写真)         |
| 16日 | 小学部 SJ 校 (1~4年生個人写真、卒業生集合写真)                                    |
| 23日 | 午前<br>中高部 SF 校 (全員)   |
|     | 午後<br>小学部 SF 校 (4年2組、5・6年生個人写真、卒業生集合写真、校長、教職員集合写真)              |

### お願い

転学届や Form A など事務局へ提出する各種書類は、必ず最新版(平成16年度版学校便覧)を使用してください。

### 新事務局員からのご挨拶



この度、本校事務局で勤務させて頂いたことになりました。岩田誠司です。これまでハワイとニューヨークで生活をし、昨年当地に移って参りました。本校のお役に立てるよう頑張ってお参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。

発行人：山崎啓二  
 San Francisco Japanese Language Class, Inc.,  
 760 Market Street, #816,  
 San Francisco, CA 94102  
 電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542  
 理事会・事務局 office@sfjlc.com,  
 学校 sfjlc@msn.com,  
 ホームページ：http://sfjlc.com  
 理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問合せ等には一切お答えしかねます。  
 無断複製・転載を禁ずる。  
 ©2004 All rights reserved.